

行政提案型協働事業報告会アンケート 回答一覧

Q 1 【必須】 報告会及び評価について（報告会の開催方法の感想、評価方法の改善点など）

- ・ 報告会の流れ、当日のスケジュール、開催方法と特に問題はないと思われま
- ・ 事前に実施報告書・関係資料は送付していただきましたが、評価票につきましては当日配布でしたので評価項目やその内容について確認する時間が短かったように思
- ・ 事業目的・目標達成度の評価項目は事業内容によっては難しいと考えま
- ・ 今回のリサイクル・リユースフェア開催事業のようなイベント的な単発事業では、事業の達成度が数値（来場者数・売り上げ額等）から、ある程度捉えやすいですが、他 2 事業につきましては、冊子やマニュアルの作成そのものが目的及び目標の達成となり得るのか少し疑問が残ります。今後の効果的活用を期待するところが大きく長期的な見通しをもった評価が必要になってくると感じます。[3-4]
- ・ 役割分担につきましては、実施報告書では、「協働の効果」で触れている程度で、またプレゼンでも事業内容の報告が主でしたので、具体的な部分が伝わってきませんでした。もう少し団体と行政お互いの取り組み過程が伝わるような実施報告書・プレゼン内容を望みます。[3-3-1]
- ・ 団体と所管課の実施報告書「その他の成果・今後の課題」の項目で、双方の見解に相違が伺えました。そのあたりは当日のプレゼン内容を重視し、評価票に記入いたしました。（子育てマップ（ぴんたっこ）発行事業）[3-3-2]
- *****
- ・ もっと、他部署の職員や議員、市民活動を支える会の人たちに来てもらいたかった。
- ・ 従来も民とともにやってきたことはあるが、それらをあえて「協働事業」と位置づける従来との相違点について、議論が必要と感じた。[3-1-1]
- ・ 全体的な総括があった方がよかった。
- *****
- ・ 協働の観点から、成果や課題に関して、行政とパートナーの役割や分担の内容をそれぞれ具体的に明確に整理した上での報告会であってほしい。[3-3-1]
- ・ 報告者はパートナー中心であったが、今回は行政提案型なので、パートナー側と行政側の両者の報告機会（場面）があっても良かったのではないか。（今回、委員の質問が主として、行政側に集中していた感がしましたので）時間的にもう少し増やせるかどうかもご検討を。[3-3-1]
- *****
- ・ 事前に資料を送っていただいたので、当日評価がしやすかった。できれば企画提案申請書も事前にいただけると嬉しい。
- ・ 時期は大変だと思うが、年度始めが良い（次年度公募の前）。継続事業に？がつけば次年度に公募をした他団体と（言い方は乱暴だが）競わせることができる。[3-3-1]
- ・ 評価方法は副委員長がおっしゃっていたように、事業者当人が自己評価をするのが良いと思う。協働事業はまだ初期段階にあるため実際に事業を行った方々の自己評価は今後の

発展に有益であると考え。併せて市・団体から協働事業に対する感想・意見・(希望があれば)提言を文書なりで提出してもらえば多くの意見を集約できるのではないか。[3-3-2]

- ・ 個人的には事業の評価も大切だが、事業においてパートナーとどのように関わっていったかを知りたいと思った。[3-2-2]

- ・ パートナーが発表し、行政担当者が同席していたので良いと思う
- ・ 事業目的・目標達成度、費用対効果、協働の効果、役割分担の実績に関する報告(実施後の自己評価)があるとよいと思う。報告書式に追加してはどうか。[3-3-2]
- ・ 基本的に推進委員会の評価は不要だと思う。評価をしてもフォローする権限はない。
- ・ 実施者(行政・事業パートナー)が共同で評価した結果を第三者として聞くことは、透明性の一手段だと思う。報告された内容について質問などにより、公的事业としての役割を明らかにすることができる。[3-3-1]

- ・ 報告会には関係機関は全て出席したほうがよい。災害救援ボランティア支援事業において、成果品のマニュアルを使用する社協に対して質問したかったが出席していないため出来なかった。[3-3-1]
- ・ 質問の時間はもう少しあってもいい。全体のスケジュールから難しいと思われるが、質問の時間はもっとあってもいいと感じた。採択された経過や成果の説明が不十分な事例もあり消化不良の事業があった。
- ・ 中長期の評価方法の検討が必要ではないか。事業終了時の評価だけではなく、例えば子育てマップやボランティアセンターの運営マニュアルなどは、その後どのように活用されたかなどの追跡調査も必要ではないか。[3-4]

- ・ 開催方法や評価方法については、問題ないと思います。ただ、協働事業の報告という趣旨を十分理解せず、自分たちの団体の活動についての報告と混同することのないように、行政側の所管課を含めて周知する必要を感じました。[3-3-1]

- ・ 行政提案型協働事業報告会については必要性を感じました。[3-3-1]
- ・ 今回初めて各事業の発表・質問を聞き、評価させていただきましたが、短時間の中での審査については、効率的な審査が出来たと思います。

Q2 【任意】その他（Q1以外の行政提案型協働事業について）

- ・ 学校や企業との協働も事例があれば知りたい。（再生可能エネルギー事業化検討協議会
はそれにはあてはまるかわからないが、その動きについて知る機会をもっと持ちたい）
- ・ もっと件数が増えると良いと思う。

- ・ 事前に審査採点表についての説明を個々にしていただいたので当日の気持ち的には余裕
をもって審査に臨めました。
- ・ 選考の視点の「協働の効果」が審査のポイントとなると考え、役割分担の内容について
お聞きしたいと思っていましたが、プレゼンでは団体のこれまでの実績報告が中心でし
た。協働事業の役割の提案（市に望む役割）や合同キャンペーン活動（啓発キャンペーン）
等の説明をもう少し具体的にしてほしいです。行政側からの回答も全容が伝わりませ
んでした。[3-1-1]

- ・ 今回、事業を審査なしで継続させることについて議論になったが、継続について定める
ことは重要だと感じた。最大何年同じ団体と契約できるのか、年度をまたいだ契約を可能
にするのか、複数年契約できるようになった場合は事業に効果が認められない時は契約を
打ち切って公募をし直すことができるのか否等問題を多く含んでいるような気がする。[3
-1-3]
- ・ 所管の希望で今回のリサイクル・リユースフェアは公募はなしになったが、本当にそれ
で良かったのかと今回の委員会で考え直すようになった。
- ・ 行政提案型協働事業は下手をすると外部発注のようになってしまわないか懸念がある。
協働事業パートナーに期待する役割だけではなく、事業に対してどのように関わってい
きたいか行政側の希望を述べる欄が概要書にあるとよいかもしれない。[3-1-2]

- ・ もっと提案団体が増えることが必要。25年度市民提案型実施に向けても、広報を十分
にしていればと思う。
- ・ 応援補助金や委託事業との違いが曖昧になっているように感じた。[3-1-1]

- ・ 行政提案型事業ありきでない。所管課における事業の必要性、効果について十分な検討
が必要と思われる。[3-1-1]
- ・ 自治基本条例で、市の職員の責務が位置付けられ、それに先立ち、22年度の地域づくり
総務大臣表彰の受賞では職員の意識改革が評価されている。さらに、協働を進めるための
ガイドラインも作成されるなど、職員に対する働きかけはされているが、職員に対する意
識改革の取り組みはさらに強化する必要がある。